介護期における訪問看護師の役割とQOL

- 川添高志
  - ケアプロ株式会社代表取締役　看護師・保健師
  - ケアプロ訪問看護ステーション東京（中野区・足立区）
  - ケアプロ在宅支援センター（居宅介護支援事業所）

介護期の訪問看護に求められること

- 終末期に向かう“介護期”の特徴
  - 介護期が終末期の「質」と「コスト」に影響を与える
  - 急変や大きなADL低下の可能性がある

- 生活の質を高めるためには？
  - 本人や家族の意思決定に寄り添う
  - 多職種との情報連携と専門性の活用
  - 急変やADL低下の予防的介入

- コスト上昇を抑えるためには？
  - 望まない入院・延命治療の予防
  - 24時間365日、迅速対応しつつ
    過剰サービスの抑制

＜24時間365日対応の訪問看護＞
※2事業所×看護師18名/事業所
※平均年齢29歳でiphone貸与

介護期における訪問看護への期待

- ケアマネや医師に聞きました。
  ケアプロ訪問看護の依頼理由（N=99）
  「1位：24時間緊急対応可能（40%）」

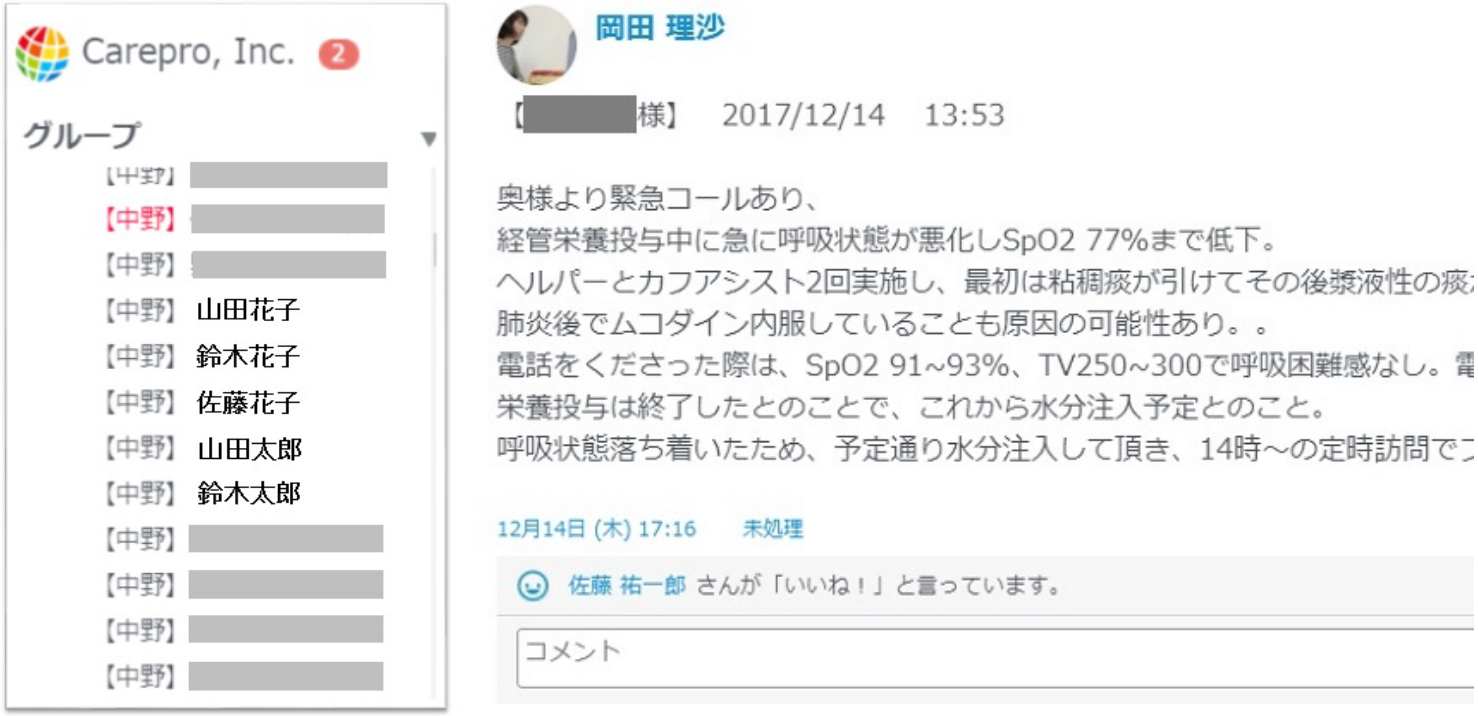
- ケアマネや医師に聞きました。
  ケアプロ訪問看護の良い点（N=99）
  「1位：連携がとりやすい（56%）」

夜間電話当番2名／事務所

チーム看護で毎日情報共有

24H365Dと連携を支えるICT

事例：社内SNS（内容はダミー）



⇒情報共有推進と情報検索時間短縮